

カンボジア王国における初のプロジェクトファイナンスの組成について

株式会社みずほ銀行（頭取：藤原 弘治、以下「みずほ銀行」）は、このたび、カンボジア王国（以下「カンボジア」）において送電線事業を運営する Cambodian Transmission Limited（以下「CTL社」）に対し、カンボジア初となるプロジェクトファイナンス（以下「本案件」）を組成しました（※1）。

カンボジアは、経済成長を背景に電力の安定供給に対する需要が高まっており、電力セクターは経済政策において重要分野です。

そのような中、2013年8月、HNG Capital Sdn Bhd（※2）が出資するCTL社は、カンボジアの国営電力公社で売電先となるElectricite Du Cambodge（以下「EDC」）との間で25年間の送電契約を締結し、送電線事業を開始しました。本事業は、首都プノンペン北部の北プノンペンとカンポンチャムにある2つの変電所を結ぶ約100 km・230 kVの規模で、首都圏への安定的な電力供給を担っています。

本案件は、ING Bank N.V.（以下「ING銀行」）との協調融資であり、カンボジア政府による保証に加え、世界銀行グループの多数国間投資保証機関（Multilateral Investment Guarantee Agency（以下「MIGA」））が、カンボジアの政治リスクを保証することで、期間10年にわたる長期の融資を可能としています。なお、MIGAにとってもカンボジア初の案件です。

また、本案件を起点とし、今後、カンボジアのエネルギー分野における国際金融市場からの資金調達多様化も期待されています。

みずほ銀行は、これまでに培った豊富な電力事業への知見とプロジェクトファイナンスの実績を活かし、高度なファイナンススキームを構築することにより、今後もカンボジアにおける発電・送電事業を支援するとともに、カンボジアのさらなる社会・経済の発展に貢献していきます。

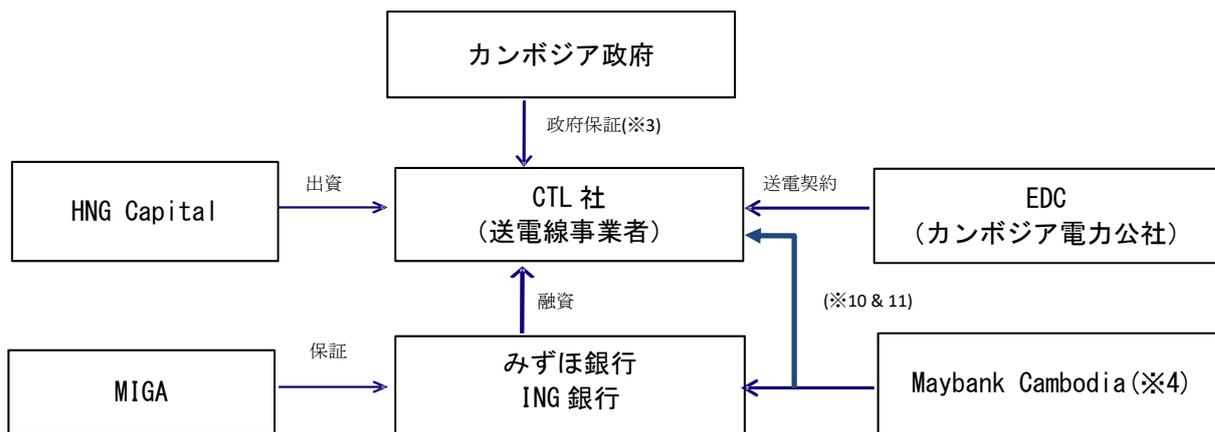
（※1） また、本案件は邦銀としてカンボジアで初めて組成した融資案件。

（※2） HNG Capital Group 傘下の投資持株会社。HNG Capital Group は、2011年に設立されたマレーシアのコングロマリットで、投資、発電、送電、金属、サービス業など多様な事業を展開。

1. 本案件概要

事業名	カンボジアにおける送電線事業
事業者	Cambodian Transmission Limited
事業内容	カンボジア プノンペン北部近郊における送電事業の運営
事業期間	2013年8月の操業開始より25年間
融資総額	55百万米ドル
融資期間	10年
保証提供機関	MIGA
契約締結日	2020年3月12日

2. 本件のスキーム図



(※3) カンボジア政府は、EDC が負っている CTL 社への送電料金の支払義務を保証。

(※4) Maybank Group が 100%出資するカンボジアの現地法人。2012 年に現地法人化され、2013 年にみずほ銀行は Maybank Cambodia と商業銀行業務及び投資銀行業務を含む広範な分野での業務提携覚書を締結。

3. 融資等参加金融機関とその主な役割

みずほ銀行	<ul style="list-style-type: none"> ・ マンデーテッドリードアレンジャー (※5) ・ ファシリティエージェント (※6) ・ オフショアアカウントバンク (※7) ・ オフショアセキュリティエージェント (※8) ・ MIGA エージェント (※9)
ING	<ul style="list-style-type: none"> ・ マンデーテッドリードアレンジャー (※5)
Maybank Cambodia	<ul style="list-style-type: none"> ・ オンショアアカウントバンク (※10) ・ オンショアセキュリティエージェント (※11)

(※5) ファイナンス組成を主導する主幹事行。

(※6) 銀行団の取りまとめを行う銀行。

(※7) カンボジア国外の口座開設及び資金決済を担う銀行。

(※8) カンボジア国外における担保管理・連絡/交渉支援を担う銀行。

(※9) MIGA との交渉・取りまとめを行う銀行。

(※10) カンボジア国内の口座開設及び資金決済を担う銀行。

(※11) カンボジア国内の担保管理・連絡/交渉支援を担う銀行。